

たかすっ子

学校だより 第7号
令和3年11月1日発行
千葉市立高洲第四小学校

幼・保・小の望ましい連携と交流を目指して

校長 渡辺 基博

朝晩の冷え込みとともに、街路樹が赤や黄に染まり始め、秋の深まりを感じるようになりました。

緊急事態宣言が明け、10月は「キッズダム」（1、2年生）や「佐原・航空博物館」（4年生）など、延期していた校外学習を多くの学年で実施することができました。



また、10月29日（金）には、第57回千葉市小学校陸上大会が、青葉の森公園陸上競技場で行われました。新型コロナウイルス新規感染者は大幅に減少しましたが、2日間にわたり、千葉市108校の小学校が集まることから、今年度も応援児童・保護者は入れず、感染対策をしながらの実施となりました。当日は、秋晴れのコンディションの中、これまで練習をしてきた成果が発揮できるよう、全力で競技に臨んでいました。その様子は、種目ごとに on-line 配信され、ともに練習を重ねた子供たちが、学校のテレビの前で応援していました。陸上競技は、結果が数字で示されるため、それぞれの子供が自分の力に応じた目標記録を設定し、練習に励んできました。同時に、6年生は5年生をリードしながら最高学年としての自覚を深めるとともに、5年生は6年生の姿から1年後の自分たちを思い描くこともできました。陸上大会に向けての練習、当日の大会をとおし、四小の絆がまた一つ深まったと感じています。保護者の皆様方には、お子様の体調や心のケアなど、大きな大会に向け、支えていただいたことに感謝しております。

さて、本校では、今年度、千葉市教育委員会より「幼・保・小連携教育推進校」の指定を受け、「幼・保・小の望ましい連携と交流を目指して～友達大好き 先生大好き 学校大好きな子供を育む交流活動～」をテーマに、近隣の美浜幼稚園、まどか保育園と連携を図っております。これまで、5年生が国語の学習で書いた報告文「安全・安心にすごせる小学校の秘密」をそれぞれの園に掲示していただいた他、両園を訪問しての6年生による読み聞かせ、年長さんの小学校見学など、以前から行っていた交流活動に加え、新たな取り組みも行っています。特に、6年生の読み聞かせは、訪問するまでにどのように読むといいのか、楽しく遊んで交流を深めるためどうしたらよいかを工夫しました。当日は、園の子供たちが終始笑顔で喜んでいる姿が見られました。6年生も、「ニコワク活動（なかよし活動）」で培ってきた力を生かすことができ、大きな自信につながったようです。今後も、学びの特性を踏まえた子供同士の交流活動、教職員間の意見交換等から、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指してまいります。

今月の20日には、学習発表会が予定されています。それぞれの学年で取り組んでいる内容をまとめ、子供たちの実態、個々の目標に合わせた発表になるようにしたいと思っております。なお、感染者数はかなり減少しておりますが、気をゆるめず、引き続き感染予防対策を講じております。その関係で、昨年度に引き続き、制限を設けての発表会にする予定です。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。